

テリリア イアア リル

愛知県芸術劇場

小ホール

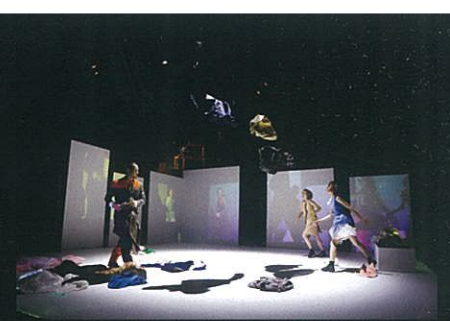
2015年

6月5日(金)

6月7日(日)



身体を省略し拡張する。
 人はできるだけ動かなくてすむようにテクノロジーを駆使する。
 人々の想像は遙か彼方にある場所や、過去や未来にある時間を、
 あたかも今ここにあるかのように具現化しようとする。
 それでも人は遠くでおこっている悲劇を想像することすらできない。
 そこにある身体を共有することができない。
 なにもない場所に立ち、リアルのない時間を過ごし、
 言葉のない声を聞き、カラダのない人に出会う。
 死はすぐそこにあり、無限であり、確定的。
 生きることはいまここにあり、限りがあり、不確定な未来にある。
 身体がなくてもいい時代を生きる私たちが実感できる身体をさがす。



振付家・矢内原 美邦[やないはら みくに]を中心に、
 映像・音楽・美術の各分野で活躍するアーティストが集まり、
 圧倒的な情報量と日常の身ぶりをモチーフに、
 現代の空虚さや危うさをドライに提示するその独特の振付けで、
 世界的に高い評価を得ているダンスカンパニー「ニブロール」。
 本作品を制作するために、昨年6月から7月にかけて、
 上富田文化会館[和歌山]、愛知県芸術劇場、
 世田谷パブリックシアター[東京]にて、
 クリエーション・ワークショップを開催。
 80名を超える地域のクリエイター・アーティストと共に
 作品を創り上げてきました。
 本作は、リアリティが希薄になった現代に生きている私たちが
 「実感」できる身体を探し、提示することを目指しています。
 みなさま是非、お誘い合わせの上、ご来場ください。

Nibroll
 1997年結成。振付家・矢内原美邦を中心に、映像作家、音楽家、
 美術作家とともに、舞台作品を発表するダンス・カンパニー。
 舞台のみならず、美術館でのパフォーマンス、ビジュアル作品の
 発表などダンスや身体表現の可能性を追求している。
 東京を主な活動拠点としながら、
 欧米やアジアなどでも作品を発表し、注目を集めている。
<http://nibroll.com>

振付：矢内原美邦
 出演：小山衣美、鶴見未穂子、森井 淳、石垣文子
 数本あんな、田辺舞、堀江善弘、渡邊智美
 映像：高橋啓祐、音楽：SKANK / スカנק、
 美術：カミイケタクヤ、衣装：稲村明子、照明：ヤン・ベッカー
 メインビジュアル：カミイケタクヤ、フライヤーデザイン：岡本健+
 舞台監督：鈴木康郎、企画・制作：precog
 日時：6月5日(金) 19:30 開演
 6月6日(土)、7日(日) 14:00 開演
 会場：愛知県芸術劇場 小ホール



〒461-8525
 愛知県名古屋市中区東桜1-13-2
 地下鉄東山線
 名城線「栄」駅下車
 徒歩5分
 オアシス21
 地下連絡通路経由
 または2F連絡通路経由

チケット：4月4日(土)発売！(全席自由、日時指定)
 一般3,200円 / 学生2,800円 / 当日一律3,500円

チケット取扱：
 ◎プリログ(peatix) <http://precog-jp.net/jp/ticket/>
 ◎愛知芸術文化センター内プレイガイド(B2)
 Tel:052-972-0430
 平日 10:00~19:00 / 土日祝 10:00~18:00
 (月曜定休・祝休日の場合、翌平日)

お問合せ：
 プリログ 03-6825-1223
info@precog-jp.net <http://precog-jp.net>

主催：Nibroll、愛知県芸術劇場
 助成：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

ARTS COUNCIL TOKYO

芸術文化振興基金(申請中)

特別協力：急な坂スタジオ
 協力：SNOW contemporay、公益財団法人井上バレエ団、
 afterimage、【exit】、近畿大学矢内原美邦研究室、
 株式会社ダイコン、藤原美加、松尾恵美、華崎文